

単元名

ふるさと廿日市及び周辺地域の自然文化に親しもう ～四季が丘、宮島、吉和の比較を通して～

【単元の概要】自分たちが生活している四季が丘を中心に、臨海部にある宮島町、山間部にある吉和との比較を通して、それぞれの地域の特色と課題をまとめる。その中から、これからの四季が丘活性化に向けてのヒントを見つけ、住みやすい地域づくりに向けて学習をすすめる。

【連携諸機関・人物】

市役所シティープロモーション室
市役所宮島支所
もみのき森林公園
吉和中学校

◆単元の目標

- 四季が丘、宮島、吉和のそれぞれの地域を比較しながら調査を行い、それぞれの地域の特色と課題を整理し、比較しながら分かりやすくまとめることができる。
- 学んだことを効果的に発信する方法を考え、表現することができる。

◆学習活動の実際（全28時間）

学習活動	他教科等との関連
〈オリエンテーション〉 ・ふるさと学習の目的と取組方法の確認を行う。	
〈課題の設定〉 宮島・吉和との比較を通して、自分達の暮らす地域「四季が丘」活性化について考えよう	
〈情報の収集〉〈情報の整理・分析〉〈情報のまとめ〉 「宮島の特色と課題について」 ① 調査テーマの設定 ↓ グループで「自然」「特産物」「歴史」「祭り」「文化」「生活」「自然」のテーマ決定 ② 現地でのインタビュー準備 ↓ ・班ごとに現地・外国人観光客に向けてのインタビュー内容準備 ・効果的なインタビューの仕方について学習（講師授業） ↓ ・インタビュー方法の見直し、マナーの最終確認 ③ 現地調査（6月） ↓ ・資料館、神社仏閣訪問して資料収集 ・商店街、観光客、地元住民へのインタビュー ④ まとめ ・調査したことを各自で「宮島新聞」としてまとめる。 「四季が丘について」 ① 各自でインタビュー、調査活動実施（8月） ・四季が丘の歴史（地域としての変化）について、家族を中心に聞き取り、まとめる。 「吉和の特色と課題について」 ① 調査テーマ・吉和中学校への四季が丘紹介内容の決定 ↓ ・班で「自然」「歴史」「特産物」のテーマごとにインタビュー内容の決定 ・四季が丘紹介内容の準備 ② 吉和中学校との交流会（9月） ↓ ・吉和小中児童、生徒との交流会の実施、地域の方からの講義 ・テーマごとに児童生徒へインタビュー ↓ ・もみのき森林公園（体験宿泊学習）での調査活動 ③ まとめ	【英語】Unit1 自己紹介 Unit10 "can" と連動させて表現活動に取り組んだ。 【社会】歴史分野「平家と厳島神社の関わり」と関連させて知識理解を深めた。 【国語】レイアウトや見出しの書き方について「学校新聞の記事を書こう」に関連付けた。 【国語】インタビュー方法について「会話が弾む質問をしよう」と関連付けた。
〈まとめ〉・「個人新聞」づくり ・まとめる視点を明確にする。	

・各地区の魅力やその魅力を高めるための工夫 ・各地区の課題や改善策 ・四季が丘や廿日市を活性化させるために考えられること ・ふるさと学習全体を通して考えたこと、学んだこと ※イラスト、グラフなどを入れながら伝えたいことを効果的に発信できる内容になるよう考える。→ 文化祭での展示発表 〈学習の振り返り〉 ・学習を通して成果と課題の整理を行い、自分自身についての力や伸ばしたい力について整理する。 〈学習内容の活用〉台湾基隆市からの中学生に向けて「ふるさと廿日市・広島」というテーマで、学んだことをベースに交流会を実施する。(2月) ① 発表テーマの設定・準備 ↓ ・国語科と連携して、パワーポイントを作成しながら発表原稿の作成 ・必要に応じて、英語・中国語の準備 ② 交流会(国語)	【国語】発表内容のまとめについて「図表の特長」と結びつけて指導した。 【国語】スピーチの仕方について「具体例を挙げて伝えよう」と関連付けて取り組ませた。
【児童生徒の感想・振り返り】	
※学習を終えた生徒の感想より ・私が誇れる廿日市の自慢は、宮島にある厳島神社です。また吉和で聞いたルバーブソースに興味があって、食べてみたいと思いました。四季が丘には、スーパーはないけど郵便局や病院があるのは良い所です。何よりも掃除が行き届いているのはすごいいと思います。 ・3つの町の共通点は人口が少ないところです。その街の魅力を紹介して、少しでも訪れてもらいたいと思います。そしてこの3つの町にはコンビニやスーパーがほとんどなくて住民はとても不便です。人口を減らさないためにも、まずスーパーやコンビニを作った方がいいと考えます。でも田舎ならではの良い所もあります。人との関わりが多く、自然に囲まれているところです。これらの町の課題をなくし、良い町になってほしいと思います。 ・廿日市全体で考えると、スーパーもできて昔より活性化していると聞きました。でも広島市に比べると人口も少なく、店も少ないと感じます。私達が子育てしやすいお年寄りが住みやすい町をつくるのが大切だと考えます。そのために新聞やポスターでPRしていきたいです。	

【効果のあった「授業展開」または「指導の工夫」等について】	【児童生徒の変容】
・効果的なインタビューの仕方について、講師を招聘して授業を実施(6月)	・インタビュー内容が、相手を意識した話し方、表現に変わった。
・宮島、吉和という特徴のある地域と自分達の暮らす地域の良い所と課題を比較、分析をさせた点	・比較調査の結果を見ながら、自分の地域に対する感想だけで終わるのではなく、課題に対して改善点を提案したり意見を言う生徒が増えた。
・廿日市市の国際交流事業を利用して、海外の方々へのプレゼンテーションを計画、実施した点(国語科との連携)	・伝える相手が明確になっているので、プレゼン内容のポイントをつかんでまとめることができていた。
【今後に向けた「改善点」】	
生徒の表現力を伸ばしていくために、 ・学習の中で実施する調査活動や、まとめたものを発表する際には必ず対象となる相手を明確にするなど、コミュニケーションを前提とした活動をより多く設定していく。 調査活動自体は、主に資料収集やネット検索を中心に個人での作業になることも多いが、現地インタビューや交流会などを設定し、生徒に「どのように伝えれば効果的か」ということを考えさせ、発表方法を工夫していく必要性を実感させていく。 ・発表に関しては、不特定多数を対象としたものに終わるのではなく、「誰に」「どのように」伝えるのかという部分を明確にし、生徒には常に相手を意識させるような取組をしていく。	